６５歳の定年退職を迎えて

立木　正（ついき　ただし）

昭和２３年(１９４８年)２月、伊豆大島に生まれ、都立大島高校卒業後の昭和４１年４月、東京学芸大学教育学部初等教育教員養成課程保健体育学科に入学致しました。

大学生時代の４年間は、硬式野球部（現在の、日本ハムファイターズ栗山英樹監督は、１４年後輩に当たり、大変光栄に思います。）に所属するとともに、家庭教師に明け暮れました。

昭和４５年４月から８年間は、東京都の公立小学校教員、昭和５３年４月からの９年間は、東京学芸大学附属小金井小学校教員として、お世話になりました。

その間の２年間は、東京学芸大学の大学院（保健体育専攻で体育科教育学が専門分野）に行かせて頂きました。

昭和６２年４月から平成２５年３月までの２６年間は、東京学芸大学の教員として大変お世話様になりました。そのうち、２１年間は保健体育学科に所属し、最後の５年間を教職大学院の専任教員として、勤務したことになります。

現在までの、我が人生６５年間を振り返りますと、４３年間の教員生活のうち、３５年間を小金井キャンパスで過ごしたことになり、学生時代を入れると、３９年間、本キャンパスでお世話になったことになります。

生まれ故郷の伊豆大島を第１の故郷とするならば、まさに、小金井キャンパスは、第２の故郷であると言えます。

特に、教職大学院における５年間、「絶対、教員になるんだ」という、強い意志と意欲をもったストレートマスターと、学校や地域の教育の中核・リーダーになる現職教員の皆さんと一緒に教育や研究ができたことは、とても幸せでした。

さらに、心温まる事務職員の皆様、親身になって１人１人の院生の生活面や教育・研究面等にご尽力くださった先生方に、心より敬意を表しますとともに、感謝申し上げます。

東京学芸大学で、人生の大半を過ごすことができ、４３年間の教員生活を送ることができたことは、最高の幸せであり、生きがいのある、全く悔いのない人生でした。すべての皆様方に、心より感謝申し上げます。本当に有り難うございました。東京学芸大学教職大学院の益々のご発展を、心よりお祈り申し上げます。

平成 25 年（2013 年）３月 31 日

立木正教授略歴および研究業績

1948（昭和 23）年２月８日、東京都伊豆大島生まれ

＜学歴＞

昭和 45 年３月　　東京学芸大学教育学部初等教育教員養成課程保健体育選修卒業
昭和 57 年４月　　東京学芸大学大学院教育学研究科修士課程保健体育専攻入学
昭和 59 年３月　　東京学芸大学大学院教育学研究科修士課程保健体育専攻修了
学位・称号　教育学修士（東京学芸大学）昭５９，３
学位論文：小学校体育の学習評価の研究―新しい体育理念に基づいた学習評価―

＜職歴＞

昭和 45 年４月　　東京都杉並区立杉並第五小学校教諭（～昭和 51 年３月）
昭和 51 年４月　　東京都武蔵野市立桜堤小学校教諭（～昭和 53 年３月）
昭和 53 年４月　　東京学芸大学教育学部附属小金井小学校教諭（～昭和 62 年３月）
昭和 62 年４月　　東京学芸大学教育学部講師（～平成元年 11 月）
平成元年 12 月　　東京学芸大学教育学部助教授（～平成 12 年 11 月）
平成 12 年 12 月　東京学芸大学教育学部教授（～平成 20 年３月）
平成 14 年９月１日　米国　オハイオ州立大学在外研究員（短期）（～平成 14 年 10 月 31 日）
平成 20 年４月　　東京学芸大学大学院教育学研究科教育実践創成専攻（教職大学院）教授（～平成２５年３月）

＜学会及び社会における活動＞

（現在所属している学会）

昭和 57 年４月～現在に至る　　日本体育学会会員
平成７年４月～現在に至る　　日本体育科教育学会会員

（社会における活動）

平成 16 年４月　　東京新大学野球連盟副会長（～平成 25 年３月）
平成 20 年４月　　全日本学生野球連盟評議員（～平成 25 年３月）
平成 20 年４月　　三鷹市立三鷹第７小学校学校運営委員会委員長（～平成 23 年３月）
三鷹中央学園コミュニティースクール委員会委員（～平成 23 年３月）
平成 20 年８月　　品川区立杜松小学校区外部評価委員会委員長（～平成 23 年７月）
平成 20 年 11 月　武蔵村山市教育委員会事務事業点検及び評価に関する有識者会議委員（～平成 23 年３月）
平成 21 年４月　　三鷹市スポーツ推進審議会委員（～平成２４年３月）
平成 21 年７月　　江東区立元加賀小学校区外部評価委員会委員長（～平成２３年３月）
平成 22 年６月　　平成２２年度台東区立学校教科用図書調査研究委員（～平成２３年３月）

＜研究業績＞

（著書）

１．「小学校体育指導と評価の実際」（共著）、昭和５６年、教育出版

２．「新学習指導要領による新しい体育授業の展開―小学校第４学年―」（共著）、平成元年、大修館書店

３．「新学習指導要領による新しい体育授業の展開―小学校第５学年―」（共著）、平成元年大修館書店

４．「小学校体育実践指導全集　３ゲーム」（編著）、平成２年、日本教育図書センター

５．「楽しさを深める体育授業の実際　２年」（共著）、平成２年、教育出版

６．「楽しさを深める体育授業の実際　６年」（共著）、平成２年、教育出版

７．「実践的教師入門」（共著）、平成６年、東洋館出版

８．「マット遊び・マット運動」（編著）、平成７年、小学館

９．「鉄棒遊び・鉄棒運動」（編著）、平成７年、小学館

10.「跳び箱遊び・跳び箱運動」（編著）、平成９年、小学館.

11.「中学校体育・スポーツ教育実践講座ＳＰＡSS　第８巻　相手チームに力一杯挑戦する球技の授業」（(共著)、平成１０年、ニチブン

12.「小学校体育の授業―⑦考え方・進め方―」（共著）、平成１２年６月、大修館書店

13.「新訂小学校体育科授業研究」（共著）、平成１２年１１月、教育出版

14.「高等学校体育の授業　下巻」（共著）、平成１３年４月、大修館書店

15.「スポーツ指導＜新論＞」（共著）、平成１５年２月、道和書院

16.「新しい小学校体育授業の展開　理論編２」（共著）、平成１８年５月、ニチブン

17.「中学校体育実技ワンダフルスポーツ　2007～2009」（共著）、平成１９年４月、新学社

18.「授業時数増に対応する時間割編成　新教育課程の授業戦略　ＮＯ．１」（共著）、平成２０年１２月、教育開発研究所

19.「小学校体育における習得・活用・探究の学習　やってみる　ひろげる　ふかめる」（編著）、平成２１年１０月、光文書院

20.「小学校体育科授業研究　第三版」（編著）、平成２１年１１月、教育出版

21.「新しいボールゲームの授業づくり」（編著）、平成２２年２月、大修館書店

22　[道徳教育の進め方の実際」（共著）、平成２２年８月、教育出版

23.「体育の学習　１年～６年　児童書」（編著）、平成２２年９月、光文書院

24.「体育の学習　１年～６年　教師用指導書」（編著）、平成２２年９月、光文書院

（学術論文等）

１．「小学校体育の学習評価の研究・その１」(単著)、昭和５９年、東京学芸大学紀要第５部門第３６集

２．「へき地における小学校体育の現状と課題－伊豆大島調査を中心として―」(単著)、平成元年、教科教育学研究第７集

３．「伊豆諸島における小学校体育の現状と課題」（単著）、平成元年、東京学芸大学紀要第５部門第４１集

４．「へき地・遠隔地校における小学校体育の現状と課題―東京都の西部山間地域を中心として―」（単著）、平成３年、東京学芸大学紀要第５部門第４３集

５．「東京都区内の小規模学校における小学校体育の現状と課題」（単著）、平成４年、東京学芸大学紀要第５部門第４４集

６．「東京学芸大学における初等科体育科教育の授業に関する調査研究」（単著）、平成５年、東京学芸大学紀要第５部門第４５集

７．「新しい学力観に立った指導と学習評価―小学校ボール運動―」（単著）、平成６年、スポーツと健康第２６巻第２号、第一法規

８．「小学校体育における跳び箱運動の『頭はね跳び』に関する調査研究」（単著）、東京学芸大学紀要第５部門第４６集

９．「大学生のダンスに対する意識と活動の実態に関する調査研究―東京学芸大学の学生を中心として―」（単著）、平成７年、東京学芸大学紀要第５部門第４７集

10．「小学校体育における選択制授業導入に関する研究―東京都の中学校保健体育科教師の意識調査からー」（単著）、平成８年、東京学芸大学紀要第５部門第４８集

11．「体育嫌いを生みだす原因に関する研究」（単著）、平成９年、東京学芸大学紀要第５部門第４９集

12．「教材価値を検証するその２－ソフトボールー」（単著）、平成１１年、体育科教育第 47 巻第５号

13．「小学校心身障害学級における体育の現状と課題」（単著）、平成１１年、体育科教育学研究第１６巻第１号

14．「日本人学校における体育的行事の現状と課題」（単著）、平成１１年、東京学芸大学紀要第５部門第５１集

15．「『探究型』と『習得型』の関連を図った『ベースボール型』授業」（単著）、平成２１年３月、体育科教育　大修館書店

16．「新しいボールゲームの授業づくり『ベースボール型ゲーム』」（単著）、平成２２年２月、体育科教育別冊　大修館書店

17．「巻頭エッセイ『ベースボール型ゲーム』の今までとこれから」、平成２３年５月、体育科教育　大修館書店

（その他）

１．「スポーツ実践のモチベーションに関する研究」、平成８年、日本教科教育学会第 22 回全国大会論文集

２．「『教科教育学における授業分析方法の開発』教師の＜言葉かけ＞が児童に及ぼす影響に関する研究―小学校第５学年の跳び箱運動を通してー研究課題番号 06451153－」、平成９年、科学研究費補助金研究成果報告書

３．「『諸科学関連教科教育学における今日的授業研究法の課題（５）』健康・スポーツ科学関連教科の立場から―教師の＜支援＞が児童に及ぼす影響に関する研究―（小学校第５学年のサッカーを通して）、平成１０年、日本科学教育学会第２２回年会論文集
４．「『教科教育学における授業の分析・評価法の開発』小学校体育におけるソフトバレーボールの授業分析の研究（課題番号 08458046）」、平成１１年、科学研究費補助金研究成果報告書